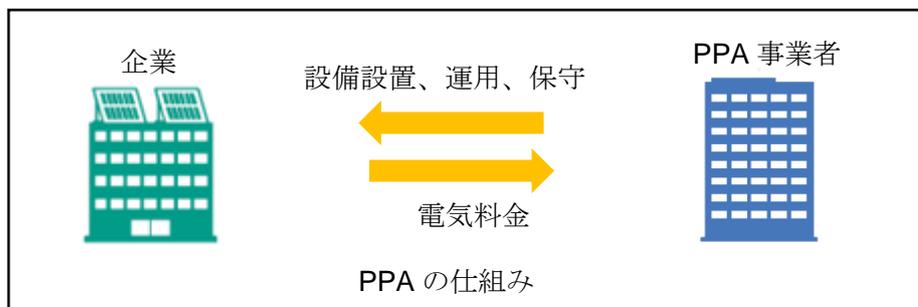


○事業場における非化石転換

オフィスビルには企業の事務所がテナントとして入居しているケースが多いのですが、テナントのエネルギーロスの例としては、空調、照明の過剰設定（時間、範囲、設定値）が、また共用部では空調、給湯、照明、電気などのメンテナンス、チューニング不足があります。

省エネルギーセンターは、タスクアンビエント照明方法など人の作業空間に合わせた最適な省エネ対策を提案するとともに、敷地や建屋等の面的スペースの状況等を把握の上、太陽光発電システムや蓄電池の効果的な導入手法を提案します。その際、必要に応じ再エネ電力メニューや PPA（電力購入契約）、非化石証書等の活用について情報提供します。



○クリーニング業における非化石転換

クリーニング工場の CO2 排出量は、約 8 割が A 重油や都市ガス等の蒸気ボイラ用燃料、約 2 割が電気の使用に由来します。蒸気は洗濯、プレス、アイロン、電気はコンプレッサが主要な消費機器です。

省エネルギーセンターは、洗濯工程における蒸気ドレインの回収、フラッシュ蒸気の活用、乾燥工程におけるフラッシュ蒸気の活用、また電気については工場屋根上への太陽光発電導入など、工程やその建屋に合った省エネ、再エネを提案します。

